

## 令和2年度 事業所職員向け自己評価の集計結果 (児童発達支援・放課後等デイサービス)

公表：令和3年1月26日

事業所名：小樽市こども発達支援センター

職員数9名 回収数9名 割合 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%		
	2	職員の配置数は適切であるか	67%	22%	ST1名の欠員状態が続いている OT もいるのが望ましいと考える
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの活動に合わせた空間となっているか	89%	11%	玄関が暗い 子どもが怖がる
業務改善	5	業務改善を進めるためにPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	89%		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所のおたよりやホームページ等で公開しているか	89%		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	44%	44%	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	78%		
適切な支援	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、支援計画を作成しているか	78%		

	11	支援計画には、ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	78 %		
	12	支援計画に沿った支援が行われているか	78 %		
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	78 %		相談担当と話し合うが専門的なことは個人で行う場合もある
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	67 %	11 %	重症心身障害児(者)などは固定化される場合もある
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか。	89 %		
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	78 %	11 %	個人で行っている場合もある
	17	支援終了後に振り返りを行い、気付いた点等を職員間で共有しているか	78 %	11 %	個人または ST と行っている
	18	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100 %		
	19	定期的にモニタリングを行い、発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100 %		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	89 %		
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	89 %		
	22	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	89 %		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	78 %		
	24	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	100 %		

	25	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	89 %		
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	67 %	11 %	
	27	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	67 %	22 %	今年度は欠員やコロナの影響で参加人数が限られ、参加は難しかった
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100 %		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	33 %	44 %	
	30	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	89 %		
	31	ガイドラインの「発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	89 %		
	32	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	89 %		
	33	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100 %		
	34	定期的に会報などを発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	100 %		
	35	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100 %		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100 %		
非常時等	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	89 %		

38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	89 %		毎年教育委員会と合同で行っている
39	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	78 %		
40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	67 %		
41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100 %		